

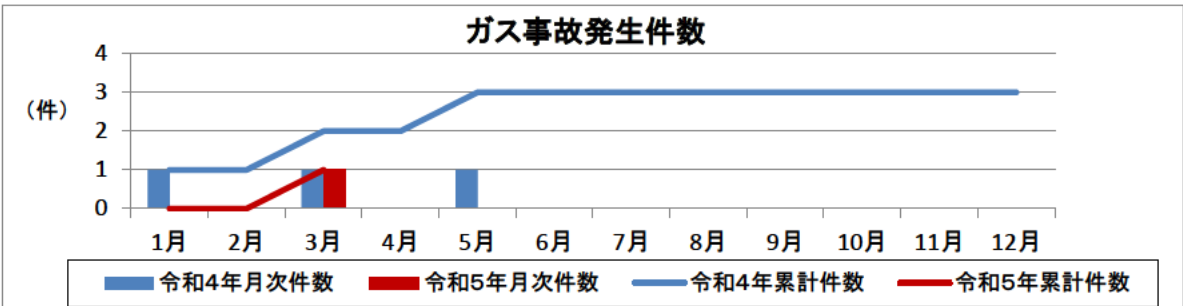
【令和5年】

■管内における事故発生状況(3月速報値)

※ 数値は事故速報ベースであり、各月のデータ積み上げが年累計と異なる場合があります。
※ 当該年の累計は1月から当該月まで、前年の累計は1月から12月までの計を示します。

○ガス事業法(ガス関係報告規則第4条)関連

事故の種別 (事象別)	令和5年3月分				前月件数	前年同月件数	令和5年累計				令和4年累計			
	件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
		死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
ガス工作物の損壊又は操作等による人身事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工事中のガス工作物の損壊又は操作等による人身事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
供給支障事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
製造支障事故					0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
ガス工作物の損壊事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガス漏洩による爆発又は火災事故	1				0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
避難、家屋破損、交通困難等					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費機器使用に伴う人身事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費機器、ガス栓から漏洩したガスへの引火による事故					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合 計	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	0



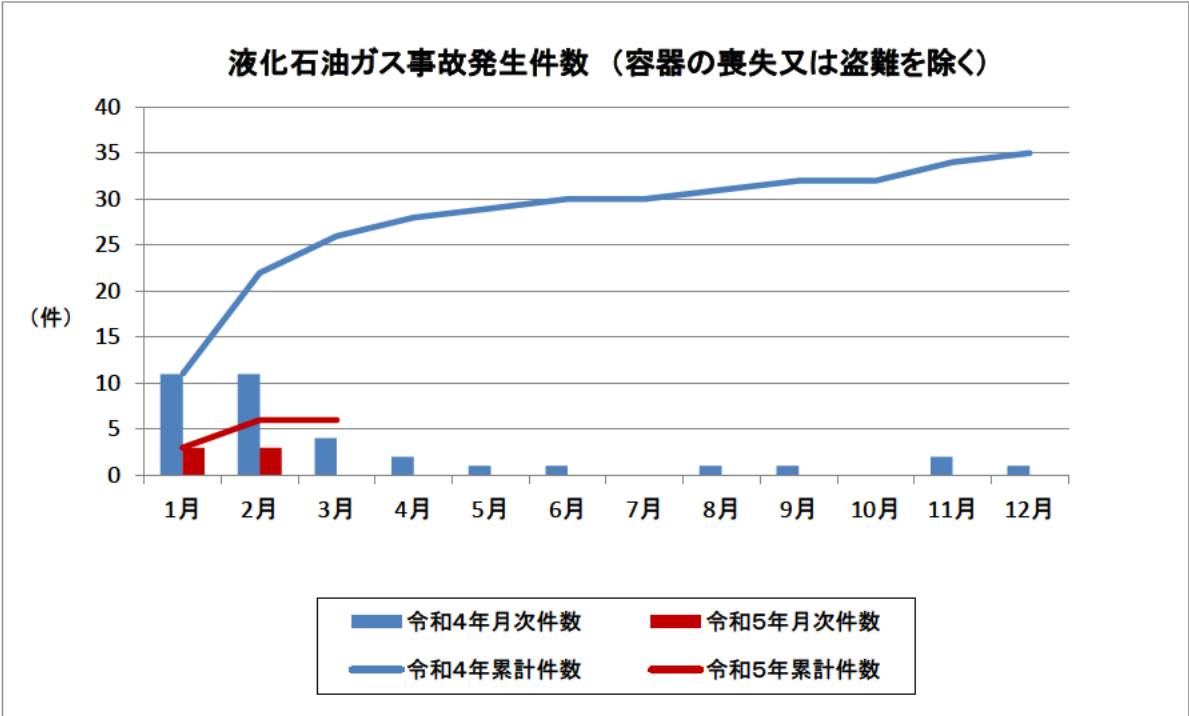
事故の種別 (段階別・事業別)		令和5年3月分				前月件数	前年同月件数	令和5年累計				令和4年累計			
		件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
			死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
製造段階	旧一般ガス等					0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
	旧簡易ガス					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
供給段階	旧一般ガス等					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	旧簡易ガス					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費段階	旧一般ガス等	1				0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	旧簡易ガス					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合 計		1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	0

○液化石油ガス保安法(液化石油ガス関係事故措置マニュアル)関連

事故の種別		令和5年3月分				前月件数	前年同月件数	令和5年累計				令和4年累計			
		件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
			死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
漏えい						0	2	2	0	0	0	13	0	0	0
漏えい爆発						0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
漏えい火災						0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
中毒・酸欠						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計		0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	15	0	0	0
雪害	漏えい					3	1	4	0	0	0	18	0	0	0
	漏えい爆発					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	漏えい火災					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	小 計	0	0	0	0	3	1	4	0	0	0	20	0	0	0
合 計		0	0	0	0	3	4	6	0	0	0	35	0	0	0
容器の喪失又は盗難						0	0	0	0	0	0	8	0	0	0
報 告 総 計		0	0	0	0	3	4	6	0	0	0	43	0	0	0

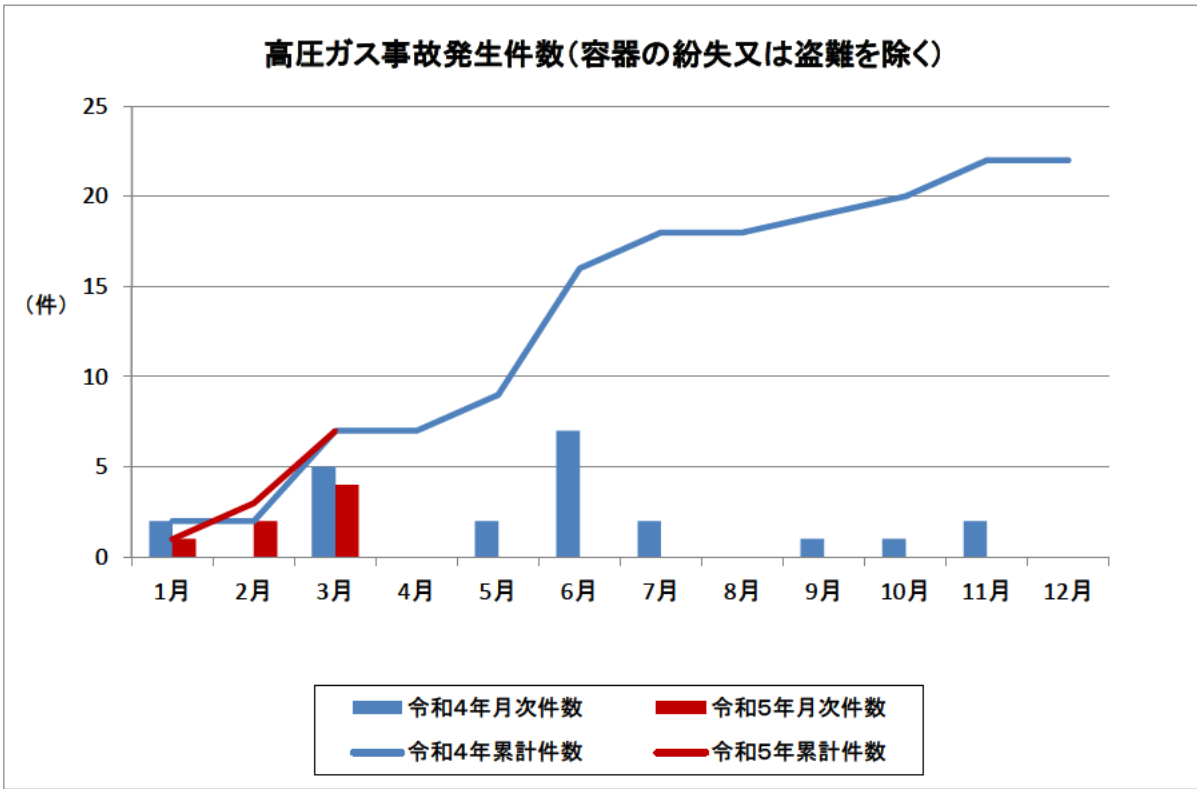
※ 各県から速報のあったものを計上しています(以下、火薬類事故まで同様)。

※ 雪害には、除雪、屋根からの雪下ろし等の人為的なものは含めず、一般事故として集計しています。



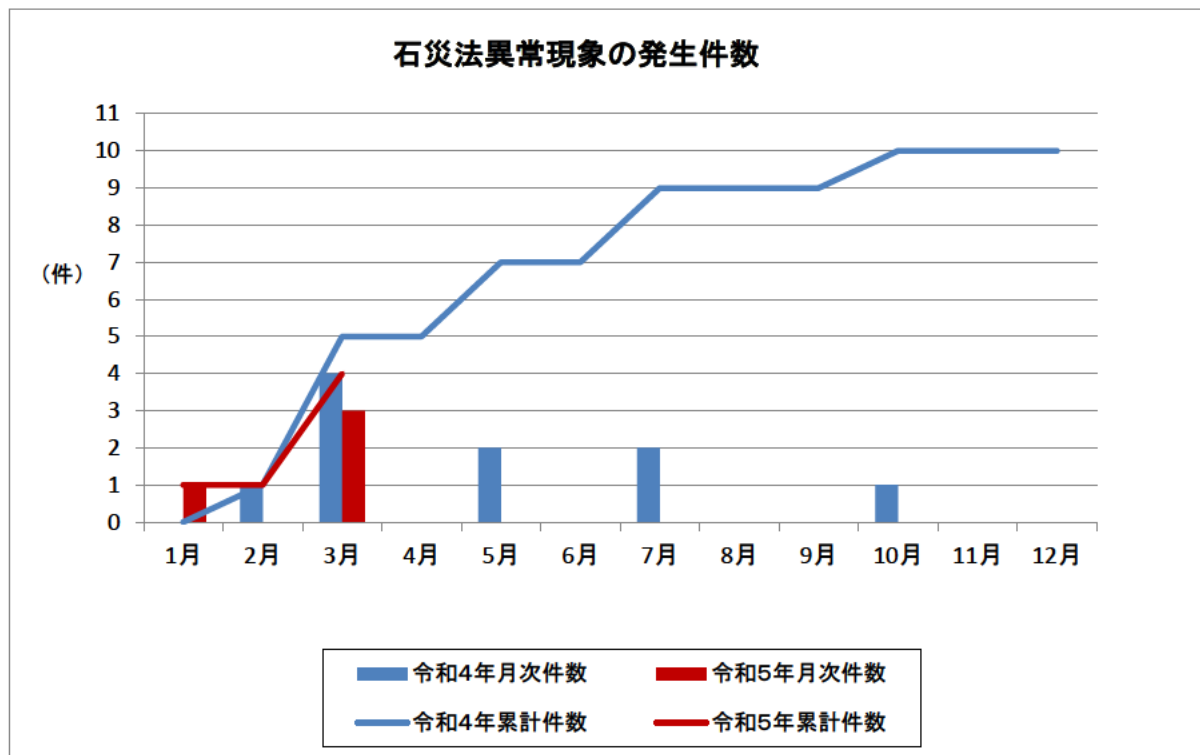
○高圧ガス保安法(高圧ガス保安法事故措置マニュアル)関連

事故の種別		令和5年3月分				前月件数	前年同月件数	令和5年累計				令和4年累計			
		件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
			死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
災害	爆発	1		3	1	0	0	1	0	3	1	0	0	0	0
	火災					0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	噴出・漏えい	3				2	5	6	0	0	0	18	0	0	0
	破裂・破損等					0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	その他					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		4	0	3	1	2	5	7	0	3	1	22	0	0	0
容器の喪失又は盗難						0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
危険な状態						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
報 告 総 計		4	0	3	1	2	5	7	0	3	1	24	0	0	0



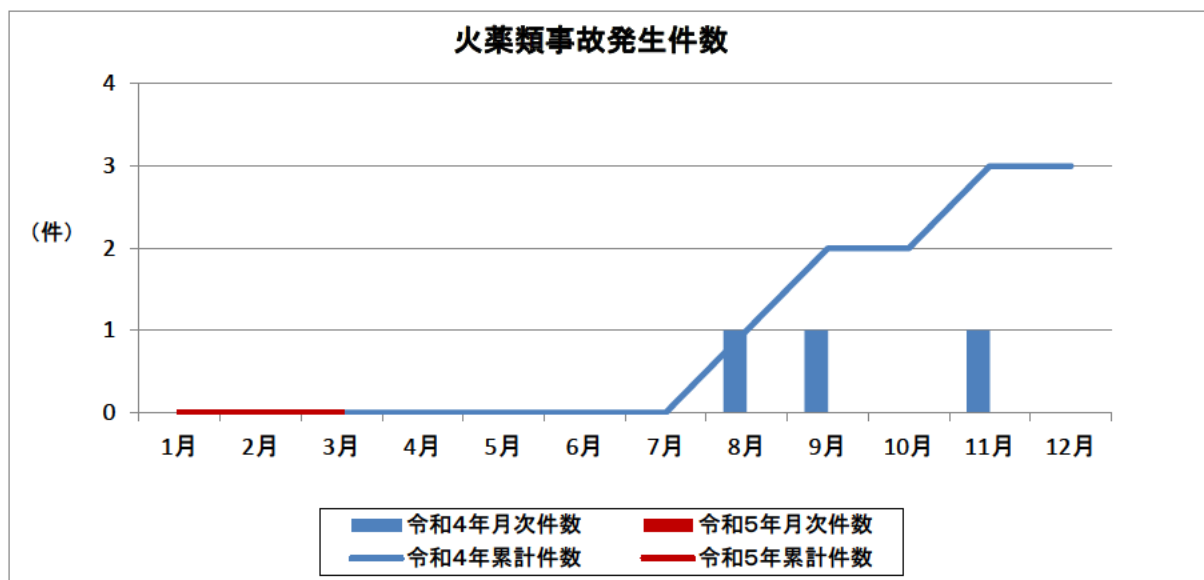
○石油コンビナート等災害防止法(第23条第1項の異常現象)関連

異常現象の種別	令和5年3月分				前月件数	前年同月件数	令和5年累計				令和4年累計			
	件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
		死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
出火	1				0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
石油等の漏洩	2				0	4	3	0	0	0	9	0	0	0
その他					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	3	0	0	0	0	4	4	0	0	0	10	0	0	0



○火薬類取締法(火薬類事故措置マニュアル)関連

取扱の種別	令和5年3月分				前月件数	前年同月件数	令和5年累計				令和4年累計			
	件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
		死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
製造中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費中					0	0	0	0	0	0	2	0	0	1
運搬中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貯蔵中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がんろう中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他					0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	3



◆令和5年(2023年)の事故概要

○ガス事業法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2023年3月11日	宮城県	一般ガス導 管事業者	漏えい・ 火災	コンロ下のアルミシートを交換中、旧型ニロガス栓の未使用側が半開となっており、そこから漏えいしたガスに何らかの原因により着火した。なお、未使用側のガス栓にはゴムキャップが装着されていた。 原因は、アルミシートの交換中か、それ以前かは不明だが、ガス栓が半開となっており、漏えいしたガスに何らかの着火源により着火したと推定される。消防による火災認定あり。	人的被害: なし 物的被害: ガスコンロ、ガス栓キャップ及び流し台並びに壁の一部焼損

○液化石油ガス保安法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2023年2月24日	岩手県	消費者	漏えい	落雪の音を聞いた消費者が外に出て確認したところ、ガス臭がしたため、警察に通報し、警察署員がLPガス容器のバルブを閉止したうえ、保安機関に連絡した。原因は、落雪(氷塊)により容器と調整器を繋ぐ高圧ホース連結管の容器側の継手部分が折損し、漏えいに至ったものと推定される。	なし
2023年2月12日	岩手県	消費者	漏えい	住宅の屋根からの落雪があり、事故住宅の近隣住民がガス臭に気づいて消防へ通報し、現地到着した消防職員が、容器のバルブを閉止した。原因は、屋根からの落雪により、容器と調整器を繋ぐ高圧ホースの容器側の継手部分が折損して、漏えいに至ったものと推定される。	なし
2023年2月8日	岩手県	消費者	漏えい	医院兼住宅の2階屋根から落雪があり、その時点で特に異常は無かったものの、翌日に当該一般消費者がガス臭に気づき、販売事業者に連絡し、ガス漏れが判明した。原因は、屋根からの落雪により、ガスメーターと供給管の継手部分が折損したものと推定される。	なし
2023年1月28日	福島県	消費者	漏えい	販売店においてマイコンメーターが遮断した信号を受信したため、当該一般消費者に電話連絡し、設置されている容器2本のうち、容器Aのバルブの開閉を行ってもらいマイコンメーターが復帰した。翌日、再度、マイコンメーターが遮断した信号を受信したので、販売店が現場確認を行い容器Aが空となっていることを確認した。また、容器Aと高圧ホースの接続部が緩んでいることを確認した。原因は、一般住宅に設置している容器2本のうち、容器Bを交換するはずが誤って容器Aと高圧ホースの接続部を緩めたが、誤りに気づいた際に、緩めた接続部を閉め忘れたことにより、ガスが漏えいしたものの。	なし
2023年1月22日	福島県	消費者	漏えい	商業施設の従業員からLPガス販売所に「ガスが漏れている」との連絡が入り、販売所員が現場を調査したところ、容器元バルブと高圧ホースの接続部からLPガスが漏れいしていることを確認した。原因は、高圧ホースの角リング(容器元バルブ接続部)の劣化によるもの。	なし
2023年1月13日	岩手県	消費者	漏えい	住宅の屋根からの落雪により、容器2本(1本は予備)を連結している高圧ホースと調整器の継手部分が折損してLPガスが漏えいしたと思われる。落雪による大きな音を聞いた一般消費者が漏えいにより気づき、容器のバルブを閉止した。原因は、屋根からの落雪により、高圧ホースと調整器の継手部分が折損したことによるもの。	なし

○高圧ガス保安法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
-------	------------	-------	-----------	-------	------

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2023年3月28日	宮城県	高圧ガス販売	漏えい	車両製造工場の液化窒素タンクに液化窒素を充填するため、高圧ガス販売事業者の移動式製造設備が来場し、充填者(運転者)が、同設備の充填ホースを液化窒素タンクに接続して配管を予冷するために窒素ガスを流した際、窒素ガスが漏えいする音を聞いたため充填者が直ちに吐出弁を閉止したところ、音(漏えい)が止まった。充填者は充填作業を中止し、会社に戻り設備を点検した結果、充填系統の配管にある「液排出弁」の本体部分に亀裂を発見した。原因は、経年及び水分により劣化が進行し、亀裂が発生したものと推定される。	なし
2023年3月23日	山形県	製造業	漏えい	空調設備の冷媒配管のロウ付け溶接部からフルオロカーボン(R32)が漏えいした。発見後、当該空調設備の運転を停止し漏えいを止めた。原因はロウ付け溶接の不備と推定される。	なし
2023年3月10日	福島県	製造業	爆発・火災	工場のカセットボンベ充填室(無人)でボタンをカセットボンベに充填中、工場内で爆発が発生し、充填室に隣接するカセットボンベの検査・梱包室で作業していた従業員3名が重傷、別の部屋の従業員1名が軽傷を負った。工場建屋も延焼。原因は調査中。	人的被害:重傷3名、軽傷1名 物的被害:調査中
2023年3月7日	秋田県	高圧ガス販売	漏えい	バルクローリーの容器に液化石油ガスを積み込み作業中、当該ローリーの操作箱内ガス警報器が発報した。作業員は直ちに積み込み作業を中止し、ガス検知器及び発泡液により漏えい箇所を探したところ、操作箱内の液ラインフレキシブルチューブの溶接継手部からの漏えいを確認したことから、液ライン各所のバルブを閉止して漏えいを止めた。原因は、振動、圧力変動等によりフレキシブルチューブ溶接継手部が疲労劣化し亀裂が発生したものと推定される。	なし
2023年2月20日	宮城県	製造業	漏えい	冷却ユニット(高圧ガス製造施設)を稼働させるため、配管内にハフツ化プロパン(C3F8)を通して循環を始めたところ、排気設備の排気ダクト継ぎ目部からハフツ化プロパンが漏えいした。原因は、冷却ユニットを稼働させる前段階として行ったハフツ化プロパンが通る配管の気密試験の際に開放した排気設備の逃し弁を閉め忘れ、開いたままの状態で冷却ユニットの配管にハフツ化プロパンを供給し稼働させたことから、ハフツ化プロパンが逃し弁を通過して排気設備方向に流れてしまい、排気ダクトの継ぎ目部から漏えいしたものの。	なし
2023年2月20日	福島県	製造業	漏えい	液化炭酸ガスCE(コールドエバポレーター:定置式超低温貯槽)及び蒸発器を日常点検していたところ、蒸発器内の銅蛇管から炭酸ガスが漏えいしている状態を発見した。原因は、銅蛇管の経年劣化によるものと推定される。	なし
2023年1月14日	宮城県	製造・流通業	漏えい	従業員が冷凍機の日常点検中にアンモニア臭を感じたため、冷凍機の製造・設置業者に調査を依頼した。同日、当該業者が現場調査したところ、冷媒配管継手部からアンモニアが微小漏えいしていることを確認した。継手部を増し締めしたが、漏えいが止まらなかったことから、冷凍機の運転を停止した。原因は、継手部の経年劣化により、継手のシール面(テーパ形状)が摩耗したことによるものと推定される。	なし

○石油コンビナート等災害防止法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2023年3月30日	福島県	発電所	漏えい	貯蔵タンクにA重油を送油中、タンク内レベル計の故障により、エアーベント(通気口)からA重油が防油堤内に漏えいした。漏えいは防油堤内に収まり、漏えい量は約800リットルで、回収済み。	なし
2023年3月30日	福島県	製造業	出火	屋外にある集じん機(ミストコットレル)が焼損した。原因は調査中。	人的被害:なし 物的被害:調査中
2023年3月27日	福島県	発電所	漏えい	総合配管設備のポンプ配管のフランジ継手部から、防液堤内に硫酸が漏えいし、その一部が防液堤を溢流したものの敷地内に止まった。漏えい量は約420リットルで、中和設備に送り処理済み。原因は調査中。	なし

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2023年1月26日	福島県	製造業	漏えい	工場の従業員が巡回していたところ、硝酸工場内の蒸溜設備から硝酸(濃度70%)が防液堤内に漏えいし溜まっている状況を見つけた。漏えい量は約215リットルで、中和設備に送り処理済み。原因は、寒波の影響で、硝酸を冷やすクーラー内の冷却コイル(ガラス製)及び冷却水フローメーター(ガラス製)が破損したため、クーラー内の硝酸が冷却コイル内部に流入し、冷却水フローメーターの破損箇所から硝酸が漏えいしたものと推定される。	なし

○火薬類取締法 (なし)

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況